

令和 3 (2021) 年度 上半期実績について

令和 3 年 1 2 月 1 6 日 平塚市病院運営審議会
平塚市民病院 経営企画課

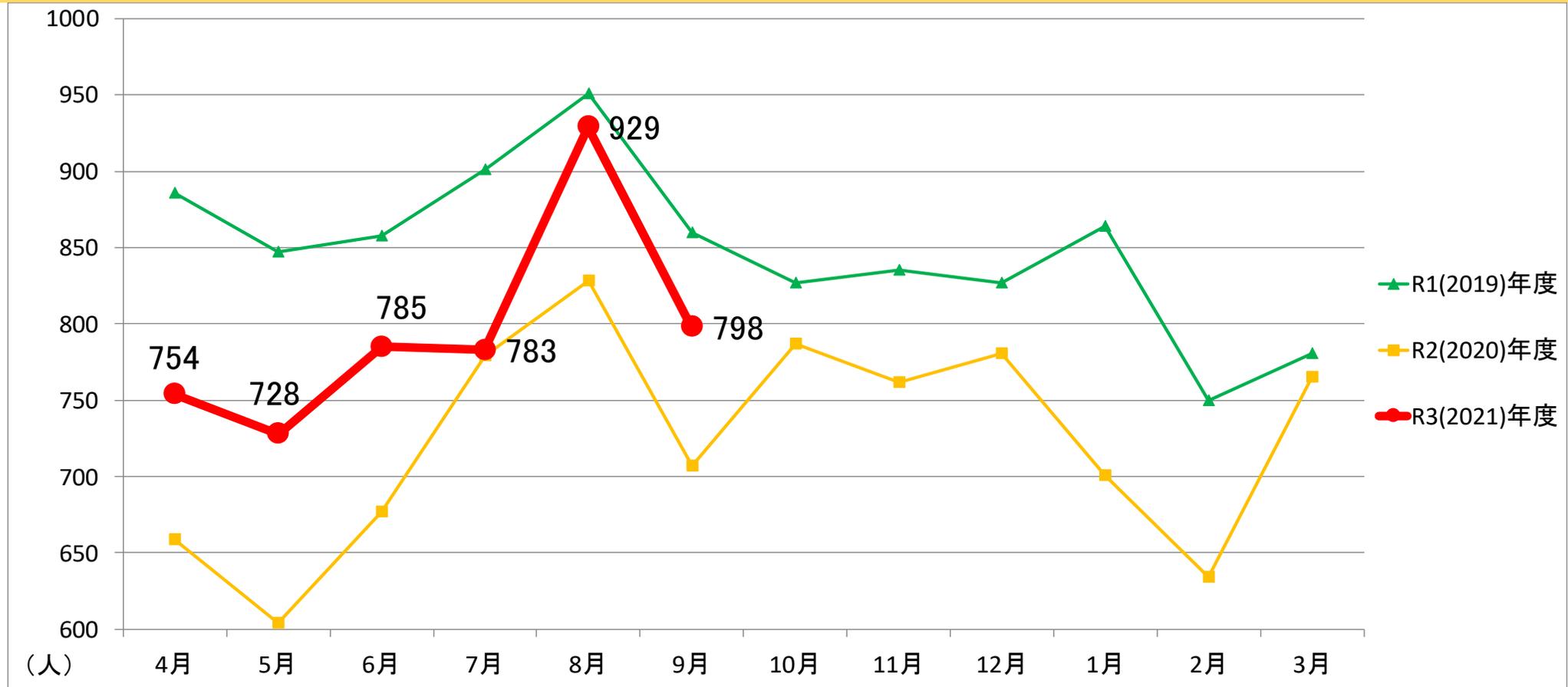


令和3年度上半期実績

主な臨床指標の推移

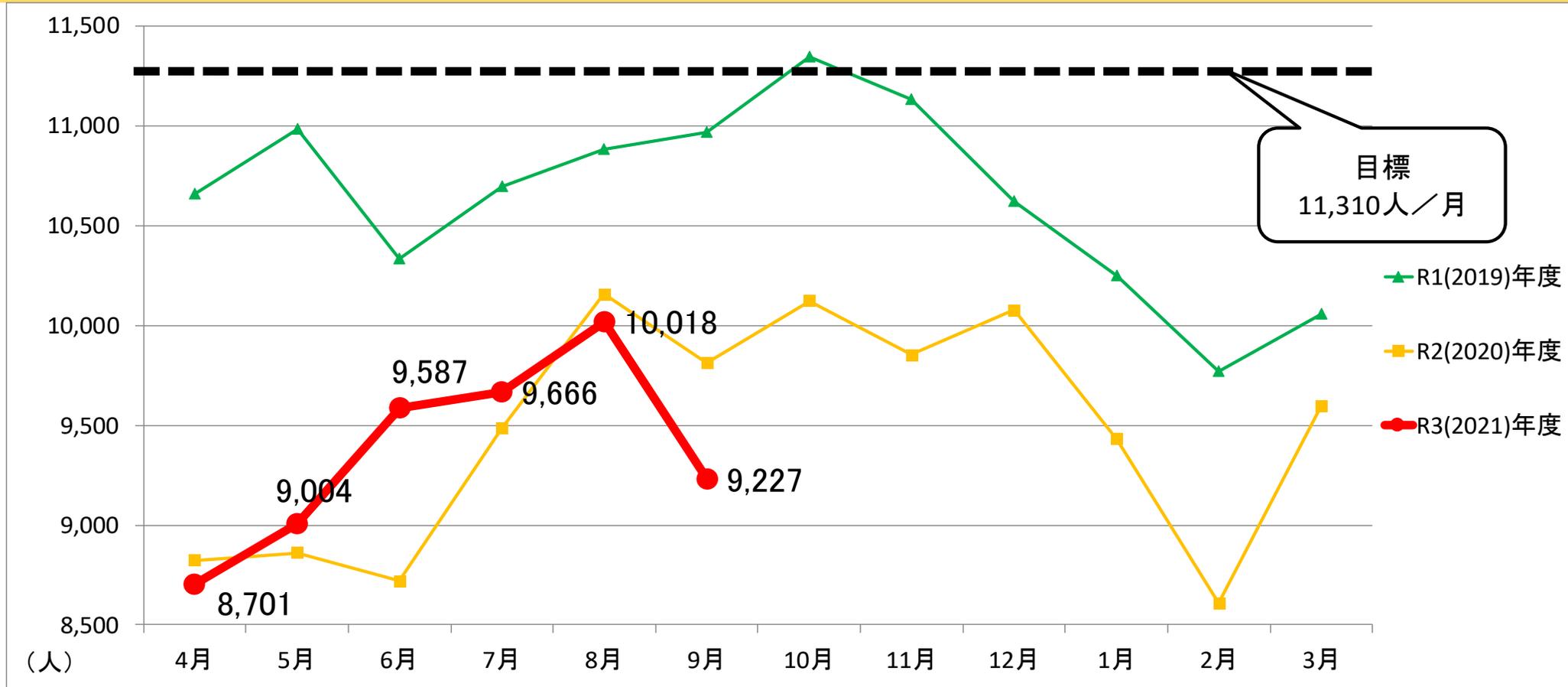
	令和元年度 上半期	令和2年度 上半期	令和3年度 上半期	差(R2-R3比較)
新入院患者数	5,303人	4,254人	4,777人	+523人 (+12.3%)
入院延患者数	64,515人	55,856人	56,203人	+347人 (+0.6%)
平均在院日数	10.1日	10.5日	9.9日	▲0.6日 (▲5.7%)
病床利用率 (稼働病床ベース)	89.5%	81.1%	83.4%	+2.3%
手術件数	2,033件	1,635件	1,999件	+364件 (+22.3%)
救急搬送入院患者数	1,446人	1,226人	1,585人	+359人 (+29.3%)
外来延患者数	104,076人	84,577人	89,340人	+4,763人 (+5.6%)

新入院患者数の推移



令和3年度は、コロナ前(令和元年度)よりも
新入院患者数が少ない。

入院延患者数の推移



令和3年度は、コロナ前(令和元年度)よりも入院延患者数が少なく、目標に達していない。

令和3年度上半期実績（入院）

疾患別入院実患者数比較

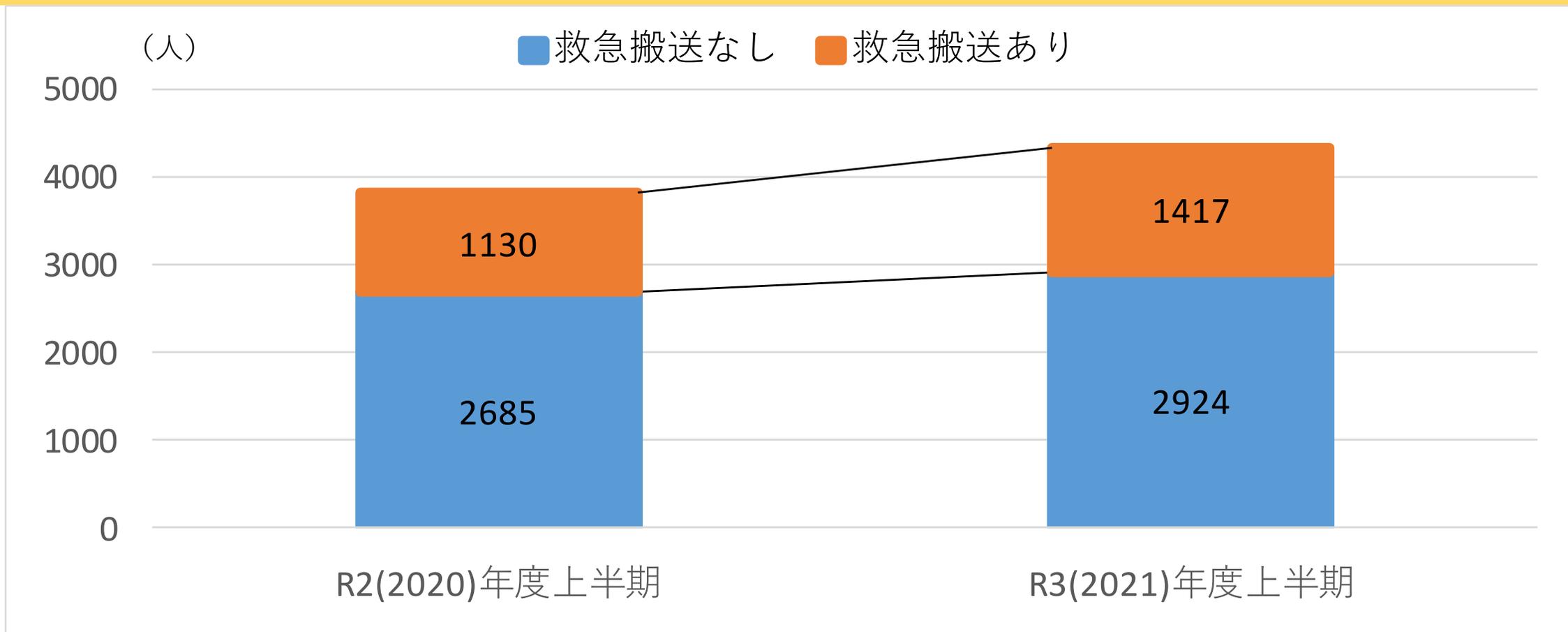
R2-R3上半期患者数増加が大きい疾患

	令和2年度 上半期	令和3年度 上半期	差
その他の感染症(真菌を除く)	52人	190人	+138人 (+265.4%)
急性気管支炎、急性細気管支炎、 下気道感染症	3人	59人	+56人 (+1866.7%)
結腸の悪性腫瘍	72人	108人	+36人 (+50.0%)
誤嚥性肺炎	113人	147人	+34人 (+30.1%)
上部尿路疾患	27人	53人	+26人 (+96.3%)
食物アレルギー	34人	57人	+23人 (+67.6%)

その他の感染症(真菌を除く) = コロナ患者等が特に増加

令和3年度上半期実績（入院）

救急搬送有無別入院実患者数比較



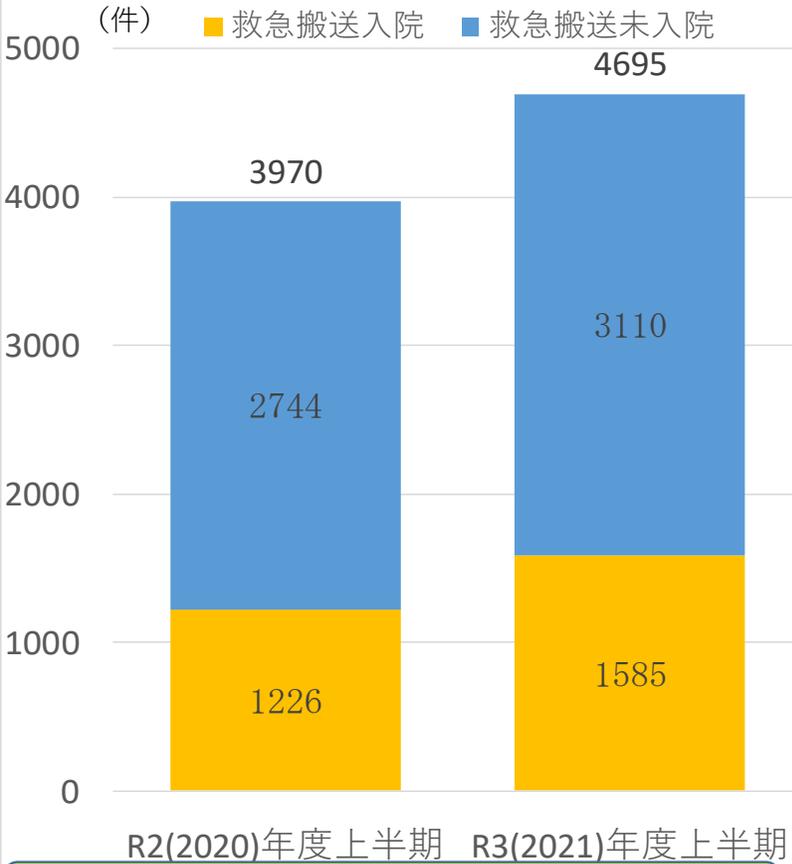
「救急搬送あり」の入院患者割合が増加

救急搬送患者のうち増加が最も多いのは「その他の感染症（真菌を除く）＝コロナ患者等」

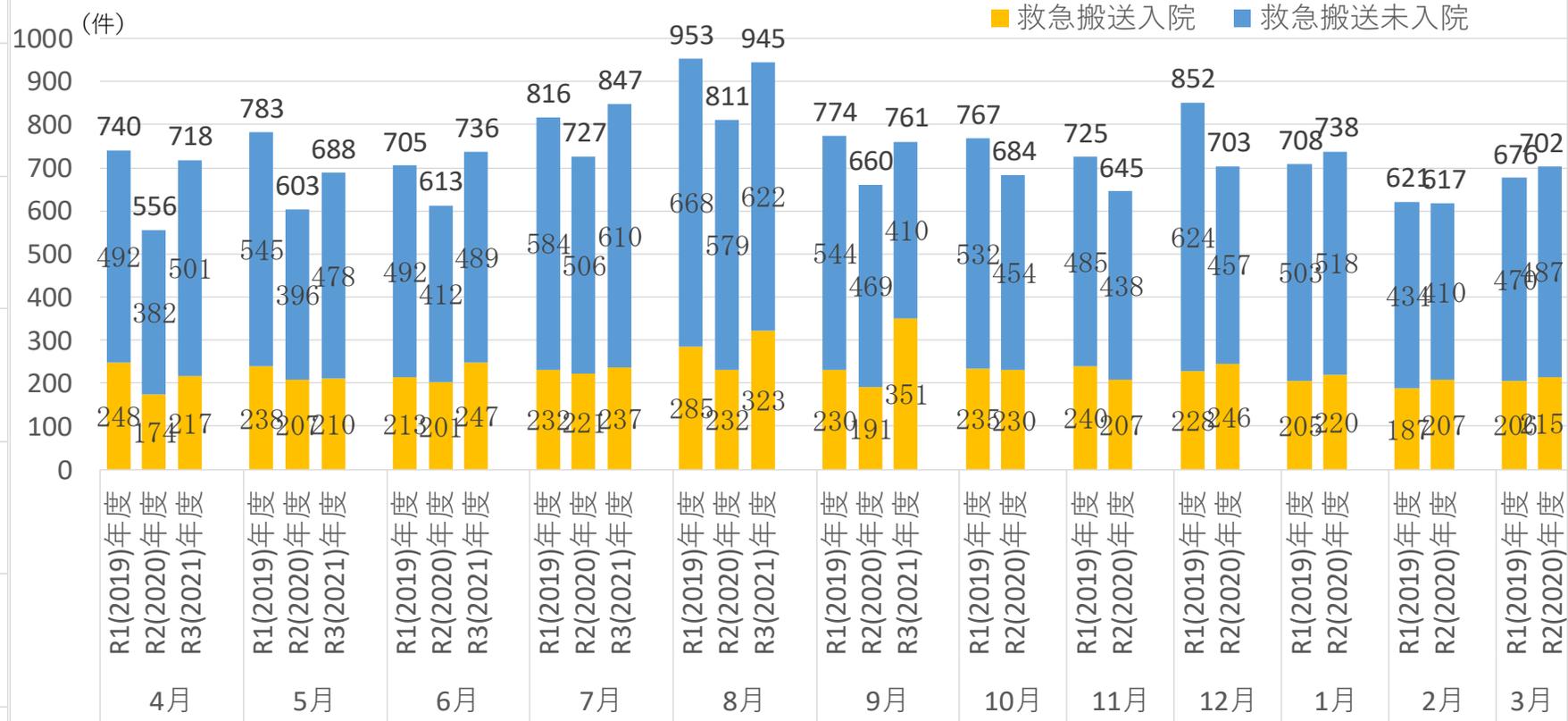
令和3年度上半期実績（入院）

救急搬送受入の推移

年間実績



月別実績



R2(2020)年度上半期 R3(2021)年度上半期

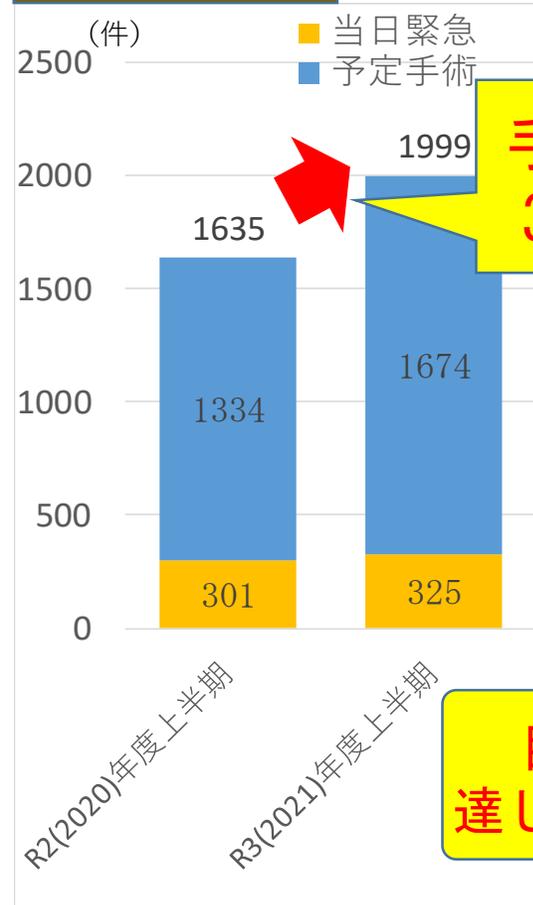
**救急搬送入院率
30.9%⇒33.8%**

軽症の救急搬送患者割合が減少

令和3年度上半期実績（入院）

手術件数の推移

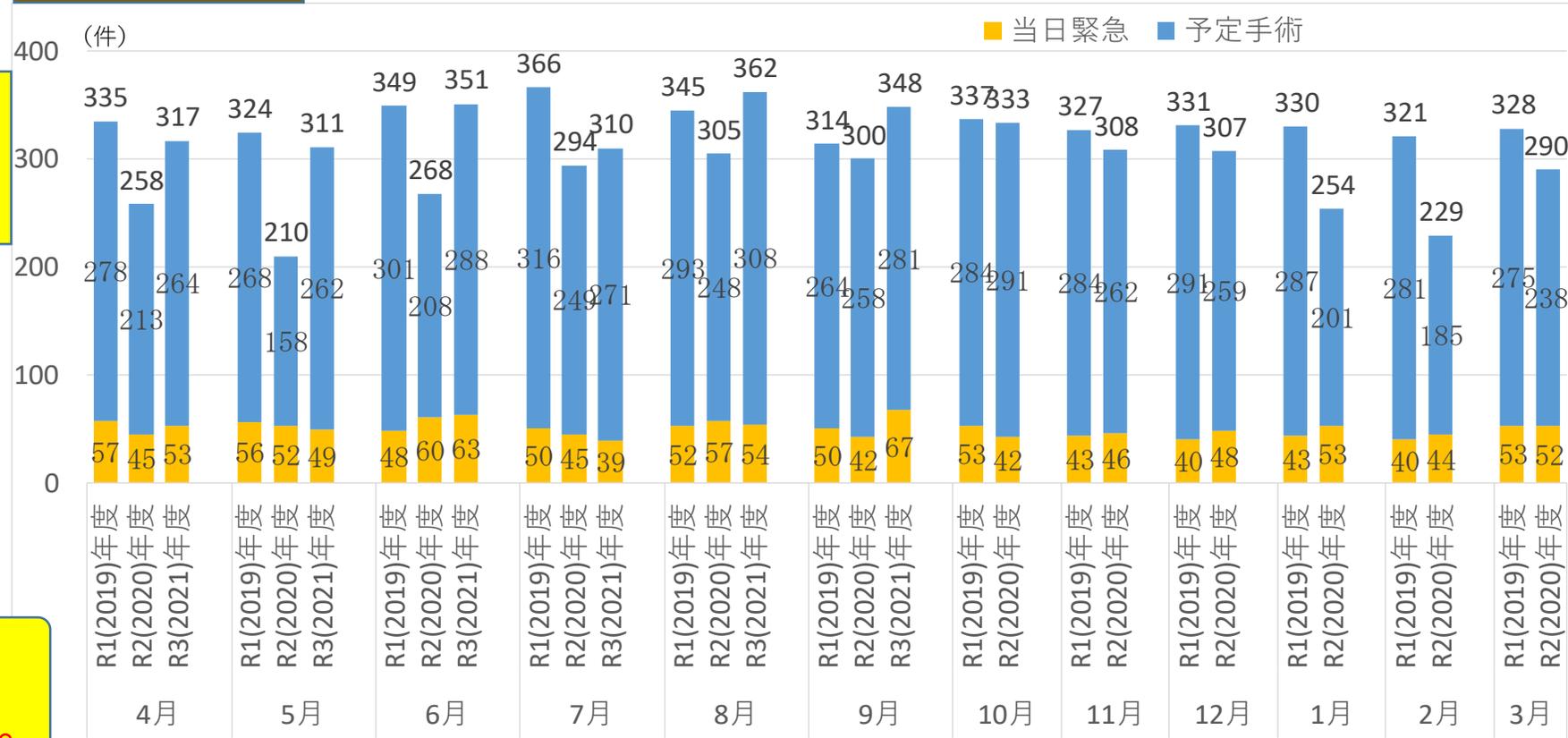
年間実績



手術件数
364件増

目標には
達していない。

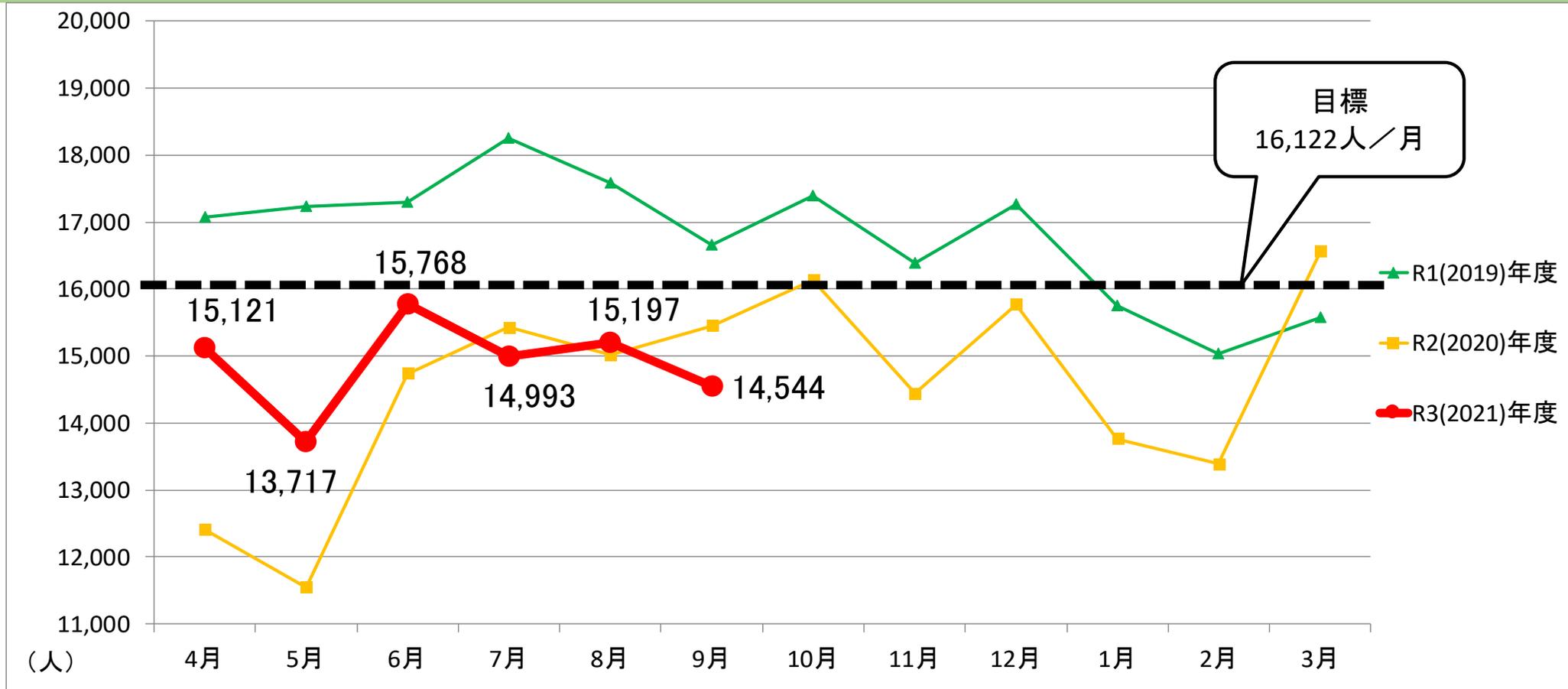
月別実績



予定手術が大幅に増加したが、
手術件数はコロナ前（令和元年度）よりも34件少ない。

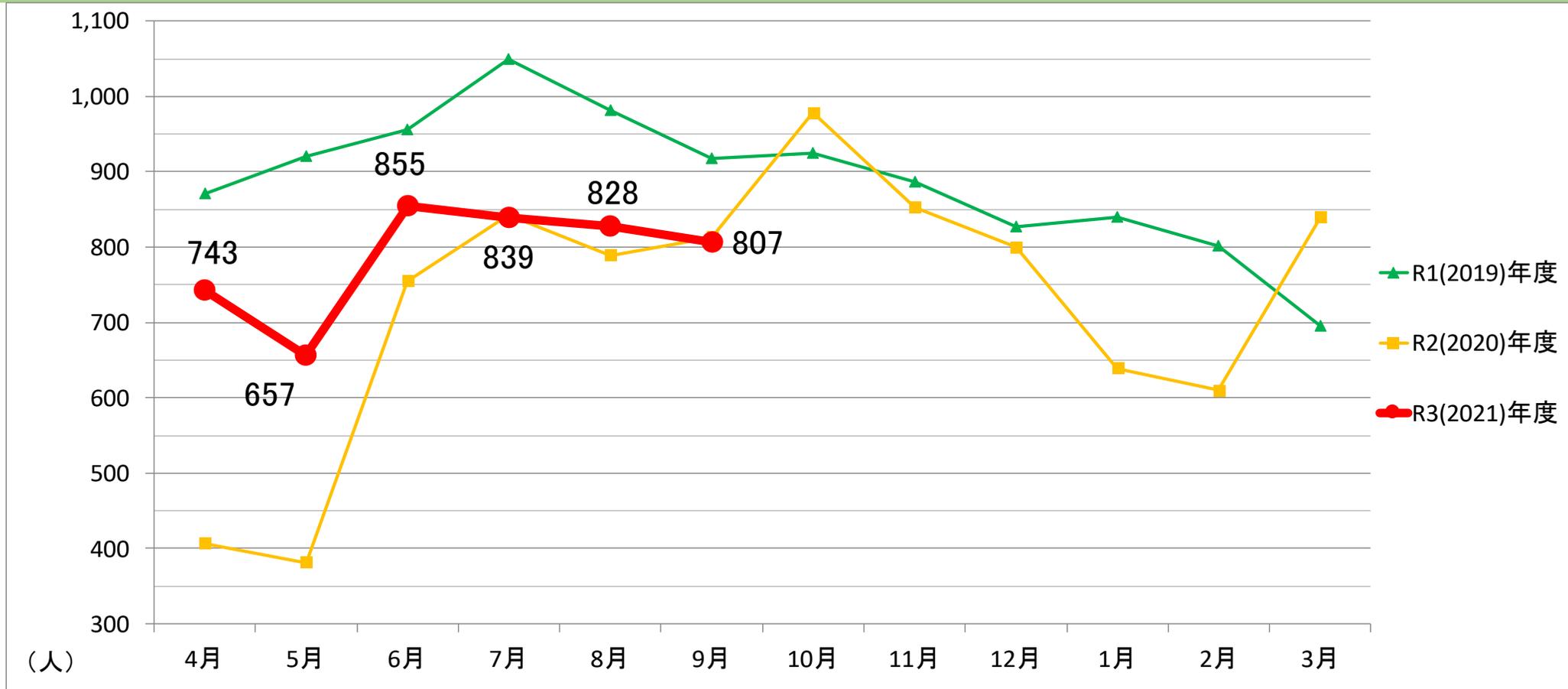
令和3年度上半期実績（外来）

外来延患者数の推移



前年度より増加したが、目標を達成

新規紹介患者数の推移



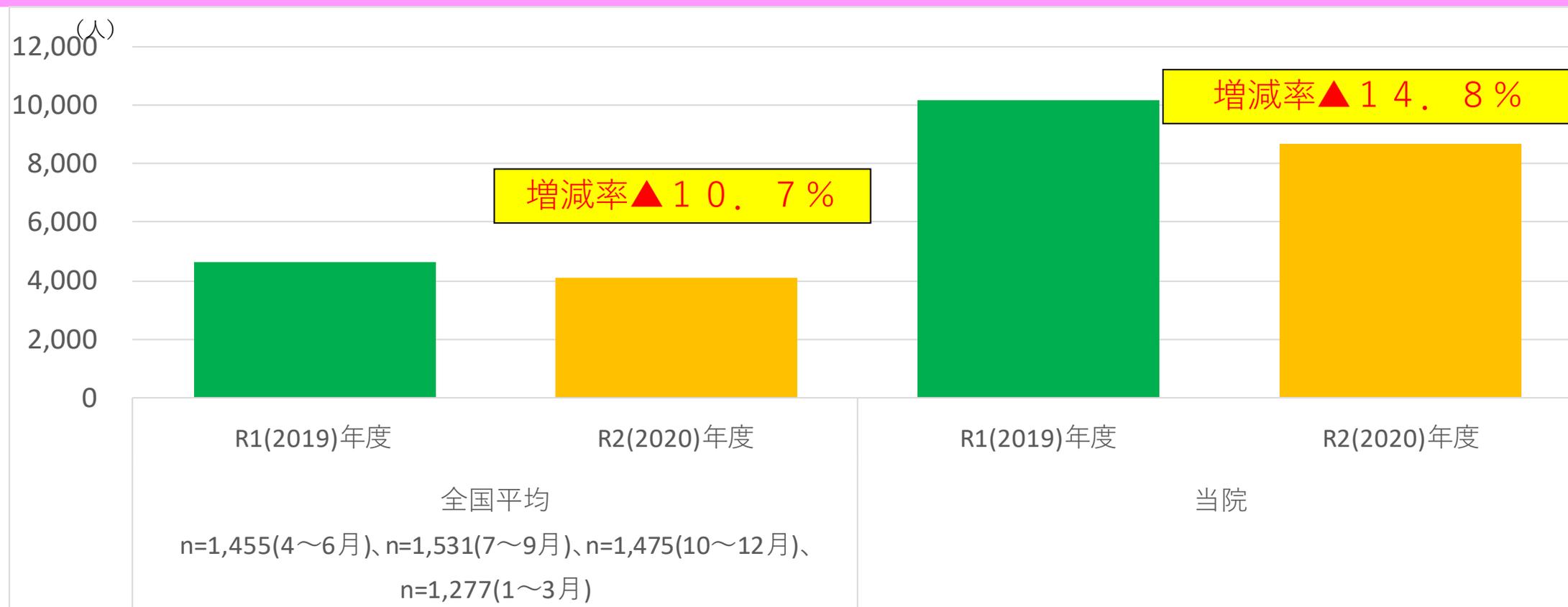
令和3年度は、コロナ前(令和元年度)よりも新規紹介患者数が少ない。

主な経営指標の前年度比較

	令和元年度 上半期	令和2年度 上半期	令和3年度 上半期	差
医業収益	59億8,000万円	49億4,000万円	58億円	+ 8億7,000万円(+ 17.5%)
入院収益	42億9,000万円	33億7,000万円	40億4,000万円	+ 6億8,000万円(+ 20.2%)
外来収益	15億7,000万円	14億7,000万円	16億5,000万円	+ 1億8,000万円(+ 12.1%)
医業費用	62億4,000万円	63億2,000万円	65億9,000万円	+ 2億7,000万円(+ 4.3%)
給与費	30億1,000万円	31億6,000万円	32億8,000万円	+ 1億2,000万円(+ 3.9%)
材料費	15億9,000万円	14億6,000万円	16億5,000万円	+ 1億9,000万円(+ 13.0%)
医業収支比率	95.9%	78.1%	88.0%	+ 9.9%
経常収支比率	104.9%	88.4%	96.5%	+ 8.1%

医業収益が増加したが、コロナ前（令和元年度）よりも少ない。
給与費の増加で、医業費用はコロナ前よりも多い。

新入院患者数の減少全国比較



全国平均は、「新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査
(一般社団法人日本病院会、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本医療法人協会)」から

当院は、令和2年度、新入院患者の減少が大きかった。

ウィズコロナにおける経営の方向性

- ・ 受療動向が変化し、コロナ収束後も患者は戻らない。
- ・ コロナ関連補助金はいつまでも続かない。

⇒ これまで以上に医療の質を向上し、
患者を確保しなければならない。

選ばれる病院を目指して①

患者から選ばれる取組例

- ・ 病院紹介用の動画配信
- ・ 分野ごとのパンフレットの作成
- ・ より広い地域を対象とした広報活動
- ・ 公開講座、出張講座の実施
- ・ 地域連携カンファレンスの実施
- ・ 患者用の分かりやすい入院計画書の作成

選ばれる病院を目指して②

職員から選ばれる取組例

- ・ 情報共有の強化
- ・ 経営状態の透明性確保
- ・ 職場環境の整備
- ・ 働き方改革への対応

まとめ

今後も、感染対策を徹底し、
安心して受診できる環境を整えることで
経営の安定化を目指し、
市民の信頼確保に努めます。